

北海道留寿都農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和2年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)アグリマイスター顕彰制度を推奨して、農業教育の質を向上させます。 (2)農業クラブ活動を充実させ、農業教育の活性化を目指します。	A	(1)日本農業技術検定3級の合格率80%以上を目指すとともに、各種資格取得を推進する。 (2)プロジェクト活動及び農業クラブの各種大会での上位大会出場を目指し、個々の活動に積極的に参加する体制の強化。
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)教科指導の充実を図り、国際教育の推進を図ります。 (2)GAPの可能性を模索する活動の推進	B	(1)教科間連携を密にし、国際的視野を広げる学習に努めると共に地域企業と連携し、学習の充実を深める。 (2)GAPへの理解を深め、時代に対応した農業学習への取り組みのため活用する地域理解を深め課題解決や振興に努めたプロジェクト学習を推進する。
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)地域の農業生産を理解し、生産技術の向上を図ります。 (2)ICTの活用を模索、検証を図る。	A	(1)地域理解を深め課題解決や振興に努めたプロジェクト学習を推進する。 (2)ICTの有効活用を模索し、講習や知識理解に努め、今後の農業学習に役立てる。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)地域農業と連携し、農業及び、農業関連産業人の育成を図ります。	B	(1)新型コロナウイルス感染予防を踏まえながら、今後に向け農家委託実習受入先を開拓する。 (2)地域産業との連携に務め、学習及び活動を推進する。
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)人と環境との関わり、地域環境について化学的視点を踏まえ、環境教育を推進します。 (2)地域の環境美化活動に参加し、保全活動を推進します。	A	(1)農業学習を通し、地域理解を深め、環境学習へ生かす取り組みを推進する。 (2)地域の関係機関との協力体制を維持し発展に努める。
	⑥「食農」教育を推進します。	(1)各機関との農業体験交流を積極的に推進し、食農教育の充実を図ります。	A	(1)農業学習を基盤とし、地域他校との交流活動を通して、生徒個々の主体性の向上に努める
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1)地域農業を理解し、農業教育の推進を図ります。	B	(1)各教科間の連携を強化し、教科横断的な農業学習を展開し、学習を深める。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)地域の行事に積極的に参加し、地域との交流を深めます。 (2)福祉施設、高齢者への支援活動を積極的に推進します。	A	(1)地域への学習成果のアピールに努める。 (2)農業・福祉の融合を目指し、日頃の学習活動で培われた、知識・技術を高年齢者との交流活動に生かせるよう展開する。
V 地域防災を推進する学校	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)地域の農業関連機関、道の駅、大学との連携を推進します。 (2)養護学校との交流を通して、福祉・農業教育を推進します。	A	(1)地域企業を含め外部機関との連携を模索し生徒の活躍の場を確保する。 (2)交流事業の方向性の検討、内容の充実を努める。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います。	(1)地域及び学校防災マニュアルを基に、防災意識を高める教育を教育を展開します。	B	(1)非常時に対する心構えと状況を判断し、正しい行動ができるよう知識理解を深めると共に、訓練により、対応する力を育成する。